

# いま めいさく よ ～今、名作を読んでみませんか～

みなさん、いかがおすごしですか。この機会に1冊でもいいですから読んでみてください。以下は、  
めいさく すいせんとしよ  
名作といわれる推薦図書です。

	作品名	作者	あらすじ
1	走れメロス	太宰治	メロスは、残ぎゃくな王のために捕らわれ、死刑判決を受けたが、妹の結婚式にいくために友に身代わりになってもらう。約束は日暮れまで。自分を信じている友のために、命をかけて走るメロス。約束を果たすことはできるのか・・・。
2	鼻	芥川龍之介	京都に住む僧侶は、人並みはずれた長い鼻の持ち主。そのことで心を病んでいたが、苦心の末、鼻を縮めることに成功した。ところが・・・。
3	蜘蛛（くも）の糸	芥川龍之介	地獄で苦しむ大悪人は、おしゃか様のお情けで、1本のくもの糸を極楽から下ろしてもらう。しかし、後ろから大勢の罪人が次々とのぼってくるのを見て自分だけが助かりたいと思い、「降りろ」と叫んだ。そのとたん・・・。
4	路傍の石	山本有三	少年が社会の矛盾にあらがって、生き抜く姿を力強く描いた感動作。
5	屋根の上のサワ	井伏鱒二	傷ついて救われた雁がしだいに仲間に関心を持ち、夜、屋根に登って鳴くようになった。動物と人間の心の交流。
6	あすなろ物語	井上靖	鮎太が明日こそヒノキのように立派になろうと希望に燃えて一杯生きていく物語。
7	坊ちゃん	夏目漱石	新米教師として中学校に赴任した坊ちゃん。周囲の無気力な態度に反発し、学生相手に奮闘する。赤シャツ教頭や野だいこ先生などずるいやつをやっつける。（ぜひ読んでね。）
8	山椒太夫	森鷗外	父を訪ねて母と旅に出た安寿と厨子王は、人買いにだまされ、母と引き離されて山椒太夫に売られてしまった。
9	銀河鉄道の夜	宮沢賢治	主人公ジョバンニが夢の中で友人カンパネルウアとともに天の川のほとりをゴトゴトと走る列車に乗って旅する物語。 （宮沢作品の中で特に私が好きな本の一つです。読書感想画を描かせたいと思っています。）
10	次郎物語	下村湖人	次郎がたくましく成長する姿が描かれています。年上の子にいじめられてもやりかえず次郎のたくましさ・・・。今の子どもたちに読んでもらいたい1冊です。（昨年、道徳で取り上げました。）
11	星の王子様	サン・テグジュペリ	星から星へと訪問の旅に出て最後に地球にやってきた・・・。ステキな童話です。
12	二十四の瞳	壺井栄	小豆島の分校を舞台にくりひろげられる女先生とその12人の教え子たちの感動の物語。

その他に、小僧の神様（志賀直哉）、太陽の子（灰谷健次郎）、しろばんば（井上靖）、片耳の大鹿（椋鳩十）、シートン動物記（シートン）、ファーブル昆虫記（ファーブル）、トム・ソーヤの冒険（マーク・トウェイン）、レ・ミゼラブル（ユーゴー）、などまだまだたくさんあります。読書によって新たな感動に出会いましょう。